

授業科目	* グラマー・コンポジションⅡ				単位	2		
履修	必修	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語) 日本語教員		ナンバリング	EN11104J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-2			
担当教員	西原 真弓							
授業概要	前期で学習した英文法の知識を土台とし、さらなる文法問題演習を行うことで文法の基礎を固める。理解を深めるために、学習した英文法を使って英語で文章を書いたり、話したりしながら、文法知識のさらなる定着と発信のための運用力の向上を図る。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英文法の基礎(用法・機能・意味・特殊表現等)を理解し、説明することができる。</li> <li>2. 学習した文法知識を基にして、より広範な英文を書くことができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	30	0	10	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	60	30	0	10	0	0	100	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英文法の基礎(用法・機能・意味・特殊表現等)を理解し、正しい文法を選択することができるだけでなく、その文法項目に関して人にわかりやすく説明することができる。</li> <li>2. 学習した文法知識を基にして、正しい英文を書けるだけでなく、ある程度まとまった文章を英文で書くことができる。</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英文法の基礎(用法・機能・意味・特殊表現等)を理解し、正しい文法を選択することができる。</li> <li>2. 学習した文法知識を基にして、正しい英文を書くことができる。</li> </ol>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	テーマ: Unit69-74 Articles and nouns 1 可算名詞、不可算名詞、不定冠詞について解説と演習を行う。	講義 演習	復習: 知らなかった単語や熟語の意味と綴りを覚え、該当部分の文法事項を理解し、間違えた問題を正しく解けるまで繰り返し問題を解く。	120
2	テーマ: Unit75-81 Articles and nouns 2 定冠詞と単数形と複数形について解説と演習を行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、理解しにくい箇所は文法書で調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟語の意味と綴りを覚え、該当部分の文法事項を理解し、間違えた問題を正しく解けるまで繰り返し問題を解く。	120
3	テーマ: Unit 82-86 Pronouns and determiners 1 代名詞について解説と演習を行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、理解しにくい箇所は文法書で調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟語の意味と綴りを覚え、該当部分の文法事項を理解し、間違えた問題を正しく解けるまで繰り返し問題を解く。	120
4	テーマ: Unit87-91 Pronouns and determiners 2 限定詞について解説と演習を行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、理解しにくい箇所は文法書で調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟語の意味と綴りを覚え、該当部分の文法事項を理解し、間違えた問題を正しく解けるまで繰り返し問題を解く。	120
5	テーマ: Unit 92-97 Relative clauses 関係代名詞について解説と演習を行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、理解しにくい箇所は文法書で調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟語の意味と綴りを覚え、該当部分の文法事項を理解し、間違えた問題を正しく解けるまで繰り返し問題を解く。	120
6	テーマ: Unit 98-103 Adjectives and adverbs 1 形容詞と副詞について解説と演習を行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、理解しにくい箇所は文法書で調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟語の意味と綴りを覚え、該当部分の文法事項を理解し、間違えた問題を正しく解けるまで繰り返し問題を解く。	120
7	テーマ: Unit 104-108 Adjectives and adverbs 2 比較級と最上級について解説と演習を行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、理解しにくい箇所は文法書で調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟語の意味と綴りを覚え、該当部分の文法事項を理解し、間違えた問題を正しく解けるまで繰り返し問題を解く。	120

8	テーマ: Unit 109-114 Adjectives and adverbs 3 形容詞や副詞の語順について解説と演習を行う。 中間試験	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、 理解しにくい箇所は文法書で 調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟 語の意味と綴りを覚え、該当 部分の文法事項を理解し、間 違えた問題を正しく解けるまで 繰り返し問題を解く。	120
9	テーマ: Unit 115-120 Conjunctions and prepositions 接続詞と前置詞について解説と演習を行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、 理解しにくい箇所は文法書で 調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟 語の意味と綴りを覚え、該当 部分の文法事項を理解し、間 違えた問題を正しく解けるまで 繰り返し問題を解く。	120
10	テーマ: Unit 121-126 Prepositions 1 各前置詞の用法について解説と演習を行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、 理解しにくい箇所は文法書で 調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟 語の意味と綴りを覚え、該当 部分の文法事項を理解し、間 違えた問題を正しく解けるまで 繰り返し問題を解く。	120
11	テーマ: Unit 127-131 Prepositions 2 名詞+前置詞、形容詞+前置詞について解説と演習を 行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、 理解しにくい箇所は文法書で 調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟 語の意味と綴りを覚え、該当 部分の文法事項を理解し、間 違えた問題を正しく解けるまで 繰り返し問題を解く。	120
12	テーマ: Unit 132-136 Prepositions 3 動詞+前置詞について解説と演習を行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、 理解しにくい箇所は文法書で 調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟 語の意味と綴りを覚え、該当 部分の文法事項を理解し、間 違えた問題を正しく解けるまで 繰り返し問題を解く。	120
13	テーマ: Unit 137-141 Phrasal verbs 1 in, out, on, off を用いた句動詞について解説と演習を 行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、 理解しにくい箇所は文法書で 調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟 語の意味と綴りを覚え、該当 部分の文法事項を理解し、間 違えた問題を正しく解けるまで 繰り返し問題を解く。	120
14	テーマ: Unit 142-145 Phrasal verbs 2 とまとめ up, down, away, back を用いた句動詞について解説と 演習を行う。	講義 演習 小テスト	予習: 文法の説明を読み、 理解しにくい箇所は文法書で 調べ、問題を解く。 復習: 知らなかった単語や熟 語の意味と綴りを覚え、該当 部分の文法事項を理解し、間	120

			違った問題を正しく解けるまで 繰り返し問題を解く。	
15	試験 これまでの授業内容についての総復習 授業アンケート	試験 講義	これまで学習したことの総復習	240
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	中学校、高校で学習した英文法の知識。グラマー・コンポジション I で学んだ英文法の知識。			
テキスト	『English Grammar in Use』 Raymond Murphy 著 (2019年) Cambridge University Press 『ロイヤル英文法』綿貫陽 他著 (2000年) 旺文社			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	『一億人の英文法』大西泰斗, ポール・マクベイ著(東進ブックス)			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	文法はスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングすべてに必要な知識である。理解が曖昧だった文法事項を確実に理解できるようにすることで、英語の表現の幅も広がるし、情報を正しく聞き取ったり読み取ったりすることもできるようになる。文法はすべての基礎。基礎が固まっていくことを意識しながら予習や復習をしっかりとってこよう。			

達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>試験(中間試験+試験) 60%: 授業内で学習した文法事項に関して理解でき、応用できることを筆記試験でみる。</p> <p>小テスト(前回授業の復習) 30%: 前回授業で学習した文法事項について理解できているかを小テストでみる。</p> <p>授業にのぞむ主体性 10%: 予習・復習の取り組み方や授業内での発言や活動への積極的な関わり方が大切である。</p> <p>【試験・小テストに対するフィードバックの方法】</p> <p>試験に関しては、成績発表後に解答例を提示する。</p> <p>小テストは採点后、返却する。</p>
--------------------------------	--

